


【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	兵庫県
取組市町村名 取組団体・企業名	県庁体育保健課（県立千種高等学校（宍粟市））
取組の名称	米作り体験 ～ 田植えから収穫、試食・販売まで ～
実施時期	食育月間（6月）
取組内容	<p>本校では、学校近くの休耕田をお借りし、1年生の「総合的な探究の時間」の中で農業体験（米作り）を実施しています。今年で4年目を迎えますが、地元の特別非常勤講師に指導を受けながら、今年も39名全員で6月3日（水）に田植えを行いました。</p> <p>中山間地に位置する本校周辺では、山々に囲まれ、のどかな田園風景が広がっており生徒宅の多くが米作りをされています。しかし近年は、農業の機械化に加え、農薬や化学肥料を利用した栽培が定着し、子供たちが各家庭で手伝いをする機会も少なくなっているのが現状です。食育の観点からも、自分で栽培する体験が今後ますます重要視されると考えます。</p> <p>そこで本校では、生徒自らの手で1年間を通じて「田植え → 水田の管理 → 収穫・調整 → 試食・販売」を行い、収穫の喜びを感じると共に、食への感謝の気持ちや協働により一つの目標に向かって取り組むことの大切さを学ばせる機会として定着しています。</p>
	 

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	兵庫県
取組市町村名 取組団体・企業名	尼崎市
取組の名称	Youtubeチャンネルによる食育情報の発信 「【人形劇】おうちであそぼう！もったいないさんのいただきます」
実施時期	食育月間（6月）
取組内容	<p>市が開設している「尼崎市立幼稚園」YouTubeチャンネルで、食育サポーターの会による食育人形劇の動画を投稿しました。</p> <p>食育サポーターの会は、健康づくり推進員として市が育成支援しているボランティアグループです。例年、市内保育所・幼稚園等で子どもたちに食の大切さを楽しく学ぶことを広めるため、様々な食育を推進する活動を行っています。</p> <p>しかし、今年度はコロナ禍のため従来のような活動展開が困難な状況です。そこで、コロナ禍により増加した「おうち時間」を就学前児童と保護者が有意義に過ごせるような情報を発信している「尼崎市立幼稚園」YouTubeチャンネルを活用し、食育月間に合わせて以下の内容を投稿しました。</p> <p>*「尼崎市立幼稚園」YouTubeチャンネルとは、本市の就学前教育の魅力を発信するYouTube。ベイ・コミュニケーションズとの連携のもと、ベイコムチャンネルでも放送中。</p> <p>【投稿日】6月29日（月）</p> <p>【内容】人形劇：『おうちであそぼう！もったいないさんのいただきます』 3匹の動物たちが、食べものの好き嫌いから繰り広げる食育サポーターの会のオリジナル食育人形劇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べものの役割 ・好き嫌いせずバランスよく食べること ・みんなで食べることの大切さ など <p>について子どもたちに伝える</p> <p>【URL】 https://www.youtube.com/watch?v=dAR_g-jYcpc</p>



【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	兵庫県
取組市町村名 取組団体・企業名	宝塚市
取組の名称	食育動画の制作
実施時期	食育月間（6月）
取組内容	<p>好き嫌いをなくし、何でも食べられるようになってほしいとの願いから、本市の学校給食調理員の有志が集まって、劇団「からっぽ大作戦」を立ち上げ、平成24年から活動しています。</p> <p>劇団の食育劇は、台本、衣装、小道具などすべてオリジナルで企画しており、市の食育イベントや市内の小中学校を中心に公演活動を行っています。</p> <p>この3月からは学校の臨時休校に伴い、子どもたちに見て楽しんでもらえる食育動画を制作し、市のホームページで外部サイト（Youtube）の紹介をしました。</p> <p>6月は3本の食育動画を新たにアップロードしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> *ゆでたまごの作り方 *給食白衣のたたみ方 *料理の味付け「さしすせそ」 <p>家で料理（またはお手伝い）をする際に役に立つ情報と、学校給食が始まってから役に立つ内容に着目し、動画を制作しました。</p> <p>今後も継続した食育動画の発信を予定しています。</p> <p>なお、これらの取り組みは、地域メディア（FM たからづか、J:COM）にも紹介されました。</p> <p>エフエム宝塚（83.5MHz）… 6月11日（木） 「afternoonVIEW『おかえりキッズ』」 J:COM（11チャンネル）… 6月16日（火） 「ジモト応援！兵庫つながる News」</p>



← 『宝塚 からっぽ大作戦』で検索が可能です。(画像は Youtube チャンネル)

【様式 1】

① 食育月間の取組

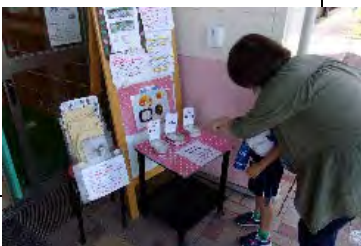
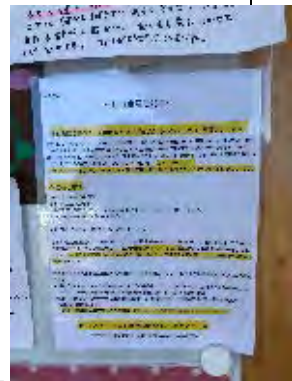
提出都道府県名 政令指定都市名	兵庫県
取組市町村名 取組団体・企業名	宍粟市立戸原小学校
取組の名称	大豆の豆まきと苗の植えかえ
実施時期	食育月間（6月）
取組内容	<p>3年生が総合的な学習で大豆栽培にチャレンジします。</p> <p>6月に種蒔きをし、水やり、移植、草引き、畝上げと世話をしながら成長を観察し、11月に収穫した後、1月には豆腐作りを体験する予定です。</p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大豆を育てて収穫し、豆腐を作って食べる活動をとおして、自然の恵みに感謝し命を大切にする心を育む。 <p>【活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月10日、3年生7名でJAさんからいただいた大豆384個をポットに植えました。 6月25日、JAさんから大豆の苗の植えかえ方を、クイズ形式で教えていただきました。 <p>豆のすじが入った方を下に向けて植えないと、うまく育たないことや、土は子葉のすぐ下までたっぷりかけることなどを教わりました。</p> <p>この日は雨のため、翌日に3年生7名で大豆の苗を学校の農園に植えかえました。</p> <p>【子どもたちの感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豆のすじを下向きに植えていなかった大豆は、くきがくるんとなっていてびっくりしました。 くきがくるんとなっているのも植えて、どうなるかを観察したいです。 ほとんどの大豆はくきがまっすぐに伸びて、草たけが20cmになっていました。 大豆と枝豆が同じ豆だと初めて知りました。 しんどい思いをして植えかえをしたので、元気に育ててほしいです。



【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	兵庫県
取組市町村名 取組団体・企業名	洲本市子ども子育て課・洲本市立安乎保育所・洲本市
取組の名称	給食の写真展示・お弁当箱入り白ご飯の実物展示（3・4・5歳児用、3つ）
実施時期	食育月間（6月）
取組内容	<p>「6月は食育月間」というキーワードにちなみ6月22日（月）～6月26日（金）の期間、給食写真と白ご飯の実物展示をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白ご飯の実物展示（実際に子ども用のお弁当箱に白ご飯を入れ、年齢ごとの分量が一目瞭然となるようにしてある）なので、親子でじっくり見て話をしたり、「白ご飯このぐらい食べらなあかんねなあ」「結構重いわ」「うちは入れすぎとるなあ」「うさぎ組でも結構食べるねなあ」とお弁当箱を持ち上げて重さを確認し、保護者同士で話をする方もいました。 ・給食の写真は、メニュー名・子どものリアクション・野菜のバリエーション・味付けの工夫などをドキュメンテーションのように付箋で貼り展示しました。 ・「おいしそう」と写真を撮ったり、「こんなに食べてるの！」と量に驚いたり、「レシピ教えてほしい」と言ってくれたり、「ケロケロバーガーどこから食べたん？」と子どもに聞いて会話を楽しんだり、コミュニケーションが一層深まりました。 ・発信をすることで親子で食べることを楽しむきっかけ作りになりました。 ・これからも、「体は食べ物でできている。食べることは生きること・食べることをおろそかにしない大人に、食べるのが大好きな大人に・いつもの食事の時間を楽しく大切に」をモットーに子ども達や保護者の方に伝え続けていきたいです。



「レシピがほしい！」という要望があったので、給食写真の下にレシピを添付したところ、「3枚共もらってかえります！」と持ち帰ってくれていました。

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	兵庫県
取組市町村名 取組団体・企業名	南あわじ市立賀集保育所
取組の名称	おうちで楽しくカレークッキング
実施時期	食育月間（6月）
取組内容	<p>【参加人数・対象者】 0～5歳児 123人とその保護者。</p> <p>【ねらい】 ・おうちの人と一緒にカレーを作り、みんなで一緒に食べるという経験を通して、作る楽しさ、一緒に食べる楽しさを感じ、子どももおうちの人にも「食」に興味と関心をもってもらおう。</p> <p>毎年保育所で育てた野菜を使ってカレーライスをつくっていますが、今年は新型コロナウイルス感染予防のため、保育所でのクッキングは控えています。自分たちで作って、みんなで一緒に食べる楽しさやかけがえのない経験の機会が少なくなっていることが、子どもたちの「食」への興味や関心に影響することのないようできる範囲で楽しく学べる食育活動を…との思いから、今年度はルーを家に持ち帰り、自宅でおうちの人と一緒にクッキングをし、その様子を絵や写真、感想などで知らせてもらうという活動を行いました。</p> <p>想像していたよりも多くの「おいしい報告」が届き、4、5歳児は野菜を洗う、皮を剥く、切る、炒めるとほとんどの工程を経験している子も多くいました。</p> <p>また、「昨日カレーつくったよ!」「野菜の皮剥いてん!」と家庭でのクッキングの経験を生き生きと言葉で伝える姿がありました。</p> <p>さらに、クラスの友達の前で話したり、異年齢の集まりの際に話したりすることで、刺激を受けた子が翌日以降新たに「おいしい報告」をしてくれたり、子ども同士でクッキングの経験を伝え合う姿も見られました。</p> <p>保護者からも、「一緒にクッキングできて楽しかった」「苦手な野菜を完食していた」「褒めてもらえてうれしそうにしていた」「なかなか一緒につくる機会がないので良い経験になった」「またしたい」などうれしい感想が多く寄せられ、家庭での食育の実践の広がりや食の関心を高めていくきっかけにすることができたことを実感できました。</p> <p>自宅で作った野菜を使って作ったり、2、3歳児もルーを入れたり、混ぜたりなど簡単な調理をする経験をしていました。</p> <p>家庭ではなかなか調理に携わる機会が少ない子どもも無理のないクッキングの経験ができたようでした。</p>

